

行政の窓

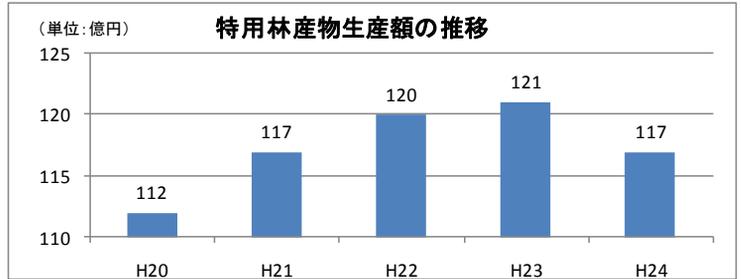


平成24年 特用林産統計について



【特用林産物生産額】

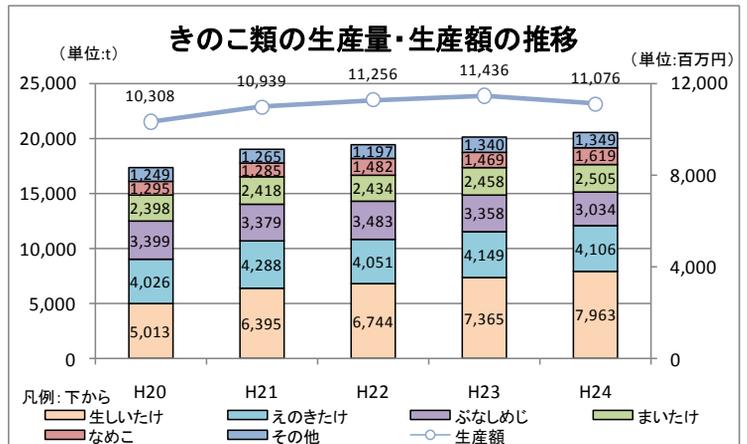
道内での平成24年の特用林産物総生産額（推計）は、約117億円（対前年比96.5%）となっています。全体の95%を占めるきのこ類の価格の下落が減少の主な要因です。



【きのこ類の生産動向】

平成24年の生産額（推計）は約111億円（対前年比96.9%）、生産量20,576 t（同102.2%）となっています。

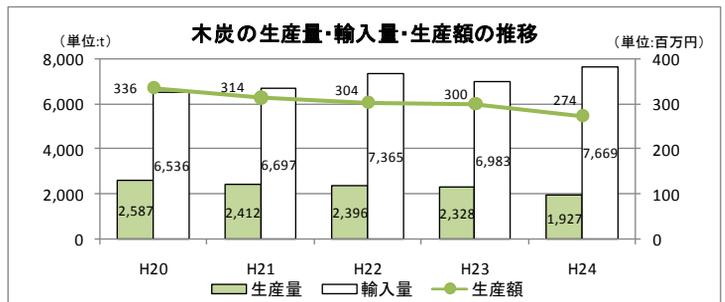
このうち道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約58億円（対前年比109.3%）、生産量が7,963 t（同108.1%）と大きく増加しています。栽培形態では、菌床栽培の生産量が97%となっています。



その他の主なきのこ生産量では、なめこ1,619 t（対前年比110.2%）などが増加し、ぶなしめじ3,034 t（対前年比90.4%）などが減少しています。

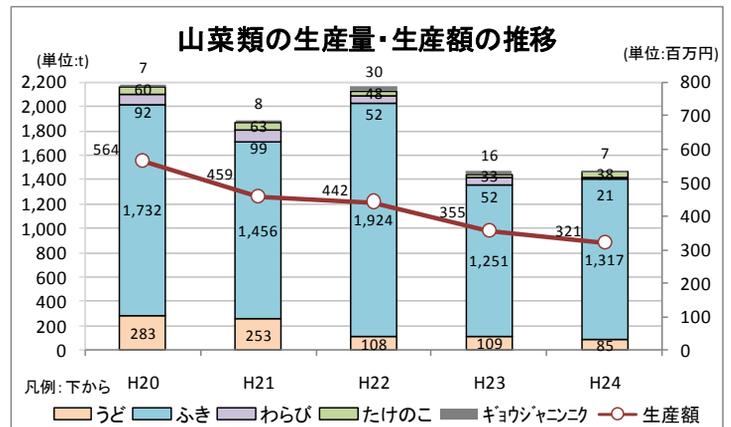
【木炭の生産動向】

平成24年の生産額は274百万円（対前年比91.3%）、生産量は1,927 t（同82.8%）となっています。また、輸入量は増加に転じ、7,669 t（対前年比109.8%）となっています。



【主な山菜類の生産動向】

平成24年の生産額は321百万円（対前年比90.4%）、生産量は1,469 t（同100.6%）となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっており、生産量の増減は、その年の天候に左右される特徴があります。



(水産林務部林務局林業木材課経営支援グループ)